



- ①よさを伸ばし合う子ども
- ②つながりを大切にする子ども
- ③自らとふるさとを拓く子ども



明日から19日間の冬休み、スタート！ ～安全で楽しい生活を～



長い2学期も今日で終わり、いよいよ明日から冬休みです。
この2学期は「親子でジオ」、「学習発表会」等の大きな学校行事や、「全日本ジオパーク全国大会」、「県ICT事業授業研究協議会」といった、子どもたちの学習を校外へ発信する機会がありました。いずれも子どもたちのがんばりで成功を収めることができました。また、大きなけがや事故等もありませんでした。これも保護者の皆様のご協力のおかげです。心より感謝申し上げます。

前に配付しております「冬休みの約束」を今一度ご確認ください、安全で楽しい冬休みを過ごしてほしいと思います。それでは、よい年末年始をお過ごしください。

次のような場合は連絡を（電話・メールどちらでも）

- ★事故や事件にあった場合
- ★大きな病気やけがをした場合
- ★困ったことや相談したいことがある場合
- ★転校する場合

※12月28日（土）から1月3日（金）は
年末年始休暇ですので、メールでの連絡を



なかよし交流会（1年） 12月16日（月）

八森子ども園の年長児を招いて、リース作りやフルーツバスケットなどを行い、交流を楽しみました。

1年生は優しい声かけをしながら、準備や練習をしてきたことをしっかりと行うことができ、大変満足げでした。



食農体験教室（6年） 12月17日（火）

J A秋田やまもと「グランママ・シスターズ」の方々から教えていただき、そば打ち体験を行いました。

粉をまとめたり、そばを伸ばしたりすることに悪戦苦闘しましたが、上手にゆで上がり、とてもおいしくいただくことができました。
J Aの皆様へ感謝いたします。



1月の主な行事

- 1日（水）元日 年始学校閉鎖（～3日）
- 13日（月）成人の日
- 14日（火）3学期始業式
- 15日（水）全校漢字テスト（～17日）
- 16日（木）身体測定
- 22日（水）活動委員会
- 24日（金）新入学児童保護者説明会
- 27日（月）八小サミット
- 28日（火）かもめ読み聞かせ
- 30日（木）避難訓練（積雪時）
- 31日（金）中学校入学説明会（八峰中学校）

移動保健教室

12月20日（金）、能代厚生医療センターの臨床心理士、澤田尚子先生を講師にお招きし、4～6年児童と保護者を対象に、「やさしい言葉のかけかた」をテーマに移動保健教室を行いました。

普段の生活の中で、他者とよりよく関わるための方法や考え方について、具体的な場面を示しながら分かりやすくお話ししました。





NEWS 校長が独断で 選んだ2024年 八森小学校 3大ニュース

2024年の八森小学校も
様々な場面で子どもたちのが
んばりが見られました。
昨年に引き続き、たくさん
の出来事の中から独断で3大
ニュースを選びました。
皆さんはどんなニュースが
心に残っているでしょうか。

自分の考えを 積極的に発表

一年間の研修の成果を発表
今年度、県の「ICTを活用し
た授業力向上事業」のモデル校と
して取り組んできた成果を、たく
さんの参加者の前で公開しました。



11月26日(火)
ICT事業授業研究協議会

児童も先生もがんばりました！

たくさんの感動 ありがとう！

笑顔で挑 各行事大成功！



6年生のリーダーシップ、さすがです！

輝

「元氣100%で挑戦」を公言する
運動会を始めとする様々な学校
行事も、児童全員の協力した取組
で大成功でした。最高学年として
全校をとりまとめた6年生の皆さ
ん、ごころうさまでした。

〈その他〉 まだまだたくさんありますが…
◇12名のかわいい1年生、ようこそ八森小へ！
◇各種コンクール&野球・ミニバスの活躍!!
◇インフルエンザ、猛威を振るう… 学年閉鎖も

◇表彰者の紹介◇

〈人権標語コンクール〉

能代人権擁護委員協議会奨励賞 須藤 碧恩さん(5年)
「いじめなし 世界につながる 思いやり」



ふるさと八森の 魅力を全国へ！



8月31日(土)
ジオパーク全国大会

ジオパークで全国つながる

小学校6年間の学びを発表
本校6年生が、青森県つる市で開催さ
れたジオパーク全国大会に参加し、全国
各地からの参加者を前に、八森白神ジオ
パークを学習教材とした発表活動につい
て発表しました。

つづき 「猫」伝承から考えたこと



先週、実家の雪かきに行くと、愛猫が二匹、
猫団子になっていました。童謡「雪」にも、
「猫はこたつで丸くなる」とあるように、猫
に冬は似つかわしくないイメージです。
しかし、アイスランドでは、冬に猫のイル
ミネーションが登場するといわれています。
これは、「クリスマスキャット」(北欧では
ユールキャット)と呼ばれる、牛のように
巨大な猫で、クリスマスの期間に山から下り
てきて、新しい羊毛の服を着ていない人々を
食べてしまうという民話に登場するのだそう
です。

そのため、かつては各家庭でユールキャッ
トに食べられないよう、家族全員で羊毛を刈
り取り、毛糸を紡ぎ、服を編んだといえます。
大人も子どもも真面目に働き、お互いに助
け合う社会づくりの大切さを伝える民話とし
て、語り継がれているということでした。
そのためか、アイスランドでは、地域社会
との繋がりが非常に重要視されており、家族
や友人との時間も大切にするため、生活に対
する満足度や幸福感が高いそうです。
日本にも様々な民話・伝承が存在します。
それらの特徴のひとつは、相手に配慮する
優しさや善行、自然や生命への畏怖や愛情と
いった日本人特有の心の在り方が説かれてい
ることです。しかし、現代は民話・伝承に触
れる機会も少なくなっているように思います。



幼い頃、夕刻、少し薄暗
くなった部屋で、常田富士
夫さんと市原悦子さんの独
特な語り口に、あっとい
間に昔話の世界に引き込ま
れていました。「まんが日
本昔ばなし」が、とても懐
かしく思い出されます。